

1. 地区の概況

**【位置】**  
市の中央に位置し、南は千葉街道（国道14号）、西は菊田遊歩道、東は千葉市との市境に接する。

**【地形・地勢】**  
地区一帯は、なだらかな段丘と砂州・砂丘からなる。千葉街道に近い鷺沼地域は古くから集落が形成されてきたが、近年、谷を埋めた人工改変地に住宅地の造成が拡大している。丘陵の縁辺部や国道14号沿線には急傾斜地が分布し、坂の多い地区を印象付けている。南北の丘陵地には大規模な畑地が広がり、近郊農業が営まれている。  
早くから開けた鷺沼の住宅地は狭隘道路が目立つが、今後、隣接する幕張新都心（千葉市）や幕張インターチェンジと連携した役割が期待される。北部の鷺沼台は農地の宅地化が進む。

**【交通】**  
地区内をJR総武本線、京成本線、京成千葉線が交差しながら通過するが、いずれも地区内に駅はない。南端を千葉街道（国道14号）が走り、南東端に京葉道路と交差する幕張インターチェンジが立地する。

**【人口・建物等】**  
地区面積は、16地区中で3番目に大きく、人口密度は市平均より高い。老年人口の割合21.0%は市平均23.5%よりも低く、老年人口が少なく、比較的若年層の割合が高い地区である。  
建物の密集度は市の平均よりも大きく、また木造建物の割合も大きいため、木造建物が密集している地区である。昭和55年以前の建物の割合は、市平均よりも低い21.3%であり、比較的新しい建物が多い。

**【地区内の施設等】**  
第一避難所として鷺沼小学校が指定されており、このほかに鷺沼台3丁目公園、梅林園、市役所駐車場が一時避難場所として指定されている。地区内に補助避難所は指定されていない。また、白鷺園が福祉避難所として指定されている。地区内には習志野市役所、消防本部・中央消防署、習志野警察署などの多くの行政機関が存在する。  
防災倉庫は市役所敷地内と鷺沼小学校に設置されており、第2給水場と鷺沼台2丁目市営住宅脇が非常用給水施設である。

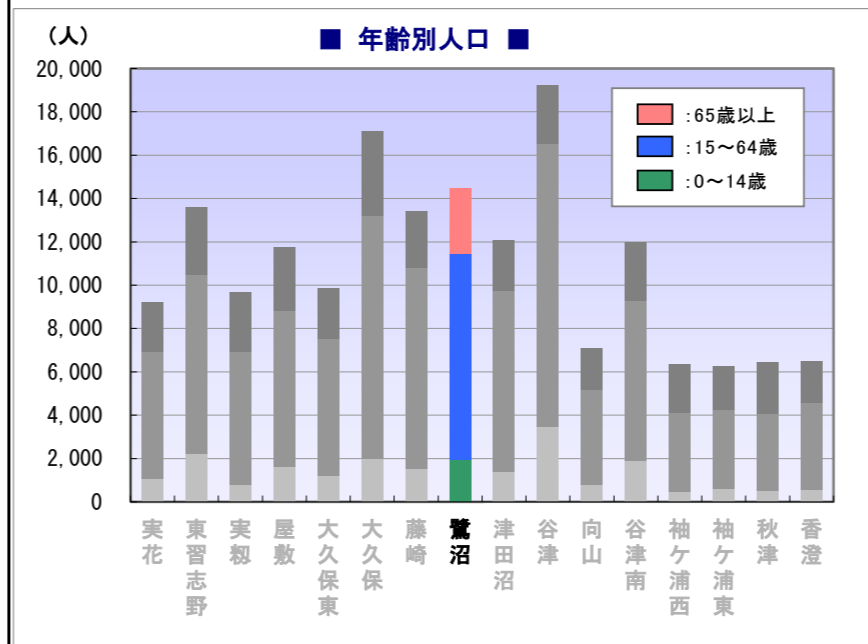
2. 位置図



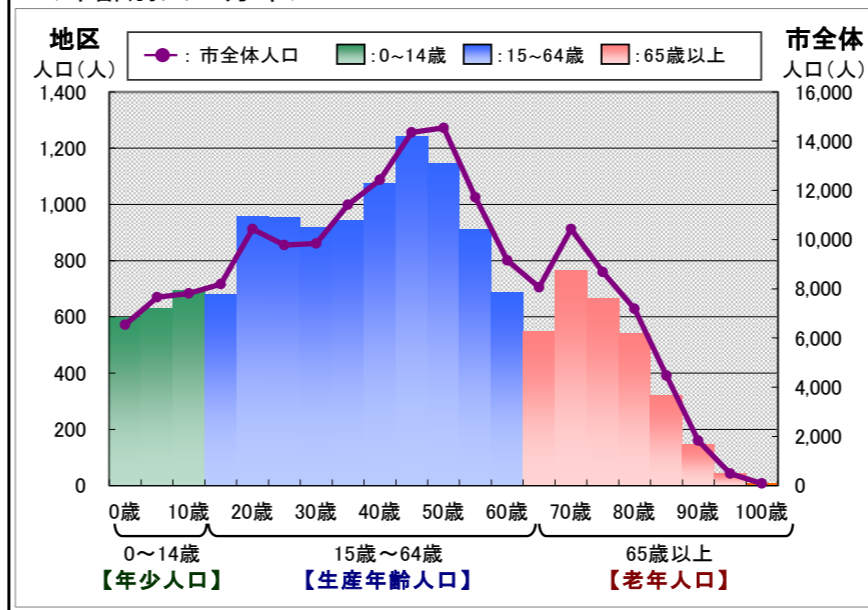
3. 基本指標

	地区内		市全域
人口	14,462 人	8.3%	175,065 人
(内訳)	-	-	-
0歳～14歳	1,921 人	8.7%	21,998 人
15歳～64歳	9,506 人	8.5%	111,846 人
65歳～	3,035 人	7.4%	41,221 人
老年人口割合	21.0 %		23.5 %
世帯数	6,717 世帯	8.1%	83,137 世帯
世帯当り人口	2.15 人	-	2.11 人
地区面積	1.91 km <sup>2</sup>	9.1%	20.96 km <sup>2</sup>
人口密度	7,564 人/km <sup>2</sup>	-	8,351 人/km <sup>2</sup>

<年齢別人口（他地区との比較）>



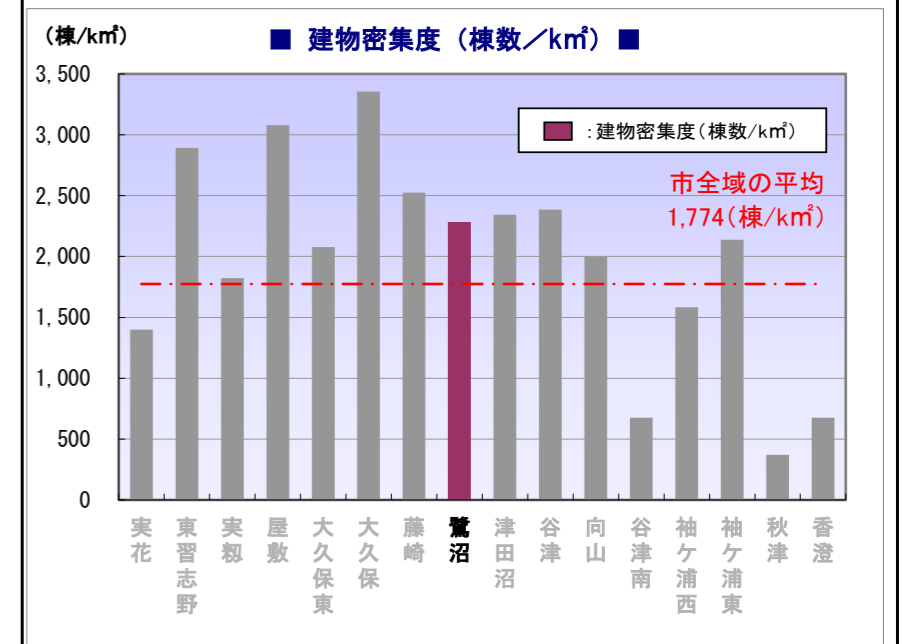
<年齢別人口分布>



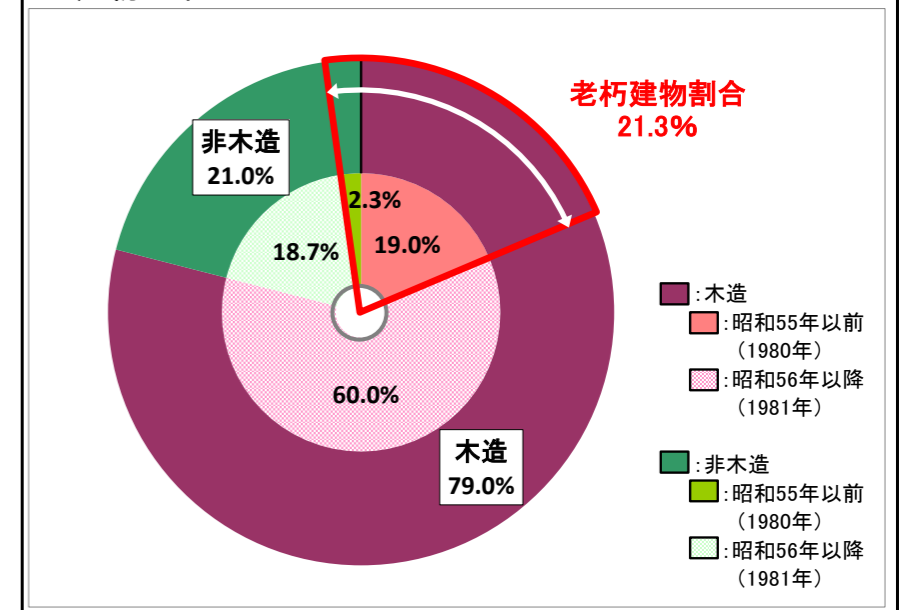
4. 建物指標

	構造	建築年	地区内	市全域
			木造	829 棟
構造・建築年別建物棟数	非木造	～昭和55年	2,612 棟	19,915 棟
		昭和56年～	99 棟	1,708 棟
		小計	3,441 棟	27,435 棟
		合計	4,356 棟	37,195 棟
		建物密集度	2,278 棟/km <sup>2</sup>	1,774 棟/km <sup>2</sup>
		老朽建物割合	21.3 %	24.8 %

<建物密集度（他地区との比較）>



<建物比率>



5. 地区対策支部

設置場所	住所	設置予定場所
鷺沼小学校	鷺沼3丁目1番1号	1階 職員室

6. 避難施設

種類	施設名称	屋外面積 (㎡)	屋外収容人員(人)	屋内面積 (㎡)	屋内収容人員(約人)
一時避難場所 (グラウンド等)	鷺沼小学校	12,926㎡	12,926人		
	鷺沼台3丁目公園	1,405㎡	1,405人		
	梅林園	7,348㎡	7,348人		
	きらっと広場・市役所駐車場	7,225㎡	7,225人		
第一避難所 (体育館等)	鷺沼小学校			855㎡	510人
補助避難所	なし				
福祉避難所	障害福祉サービス事業所希望の虹レインボー学園				
	養護老人ホーム白鷺園				

※ 一時避難場所は敷地面積すべてを記載しています。

7. 高齢者福祉施設

施設名	施設名
養護老人ホーム白鷺園	ミック健康の森鷺沼
愛・グループホーム鷺沼台	デイサービスいっぽ
愛・小規模多機能鷺沼台	
イリーゼ津田沼	
白鷺園デイサービスセンター	
デイサービスあじさい	

8. 防災倉庫・非常用給水施設・AED設置場所

種類	施設名	住所
防災倉庫	市役所敷地内	鷺沼2丁目1番地先
防災倉庫	鷺沼小学校	鷺沼3丁目1番1号
給水施設	第2給水場	藤崎1丁目1号13番
給水施設	鷺沼台二丁目市営住宅脇	鷺沼台2丁目2番
AED設置場所	鷺沼小学校	鷺沼3丁目1番1号
AED設置場所	中央消防署	鷺沼2丁目1番43号
AED設置場所	市庁舎	鷺沼2丁目1番1号
AED設置場所	保健会館(情報センター)	鷺沼1丁目2番1号
AED設置場所	こどもセンター	鷺沼1丁目8番24号
AED設置場所	養護老人ホーム「白鷺園」	鷺沼3丁目6番44号

9. 消防・警察・医療機関

種類	施設名
消防署・出張所 【消防団】	消防本部中央消防署
	消防団本部
	第3分団詰所
警察・交番	習志野警察署
病院・診療所	なし

10. 自主防災組織

組織数	加入世帯数
20	4,107

11. その他防災施設

種類	地区内	習志野市全域
防災行政無線 (スピーカー)	2 箇所	49 箇所
ヘリポート 臨時離発着場	0 箇所	13 箇所
消防水利	196 箇所	2,191 箇所

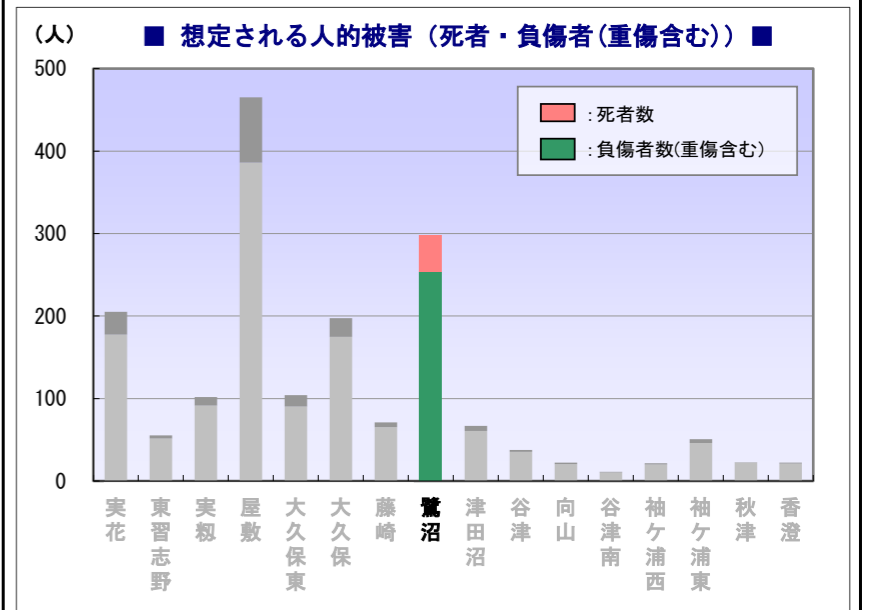
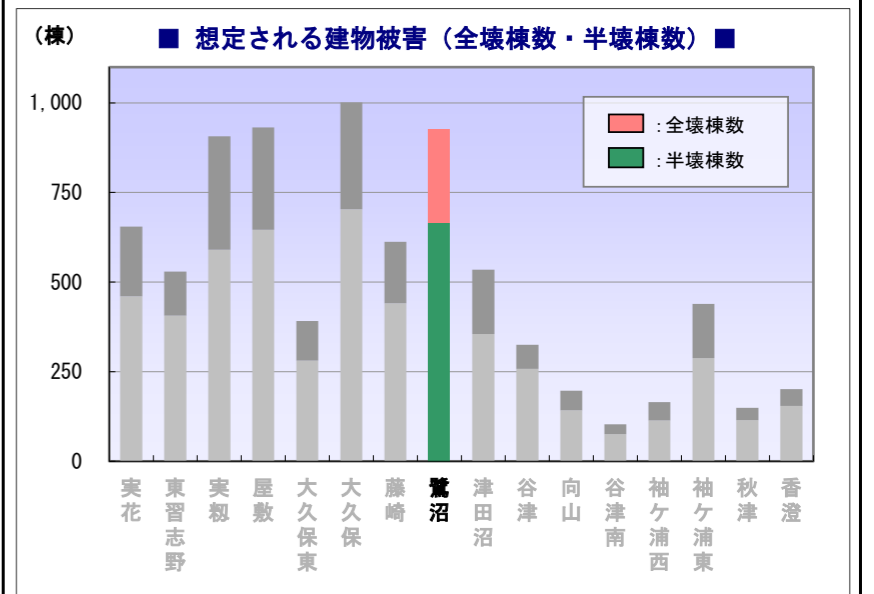
12. 土砂災害

種類	地区内	習志野市全域
土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	2 箇所	34 箇所
土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	2 箇所	36 箇所
急傾斜地崩壊危険区域	1 箇所	5 箇所

13. 各種災害被害想定結果

被害想定項目	被害数値 (当該地区)	被害数値 (市全域)
建物被害【全壊】(棟)	260棟	2,371棟
建物被害【半壊】(棟)	665棟	5,697棟
建物全半壊率(%)	21.2%	21.7%
火災被害【焼失棟数】(棟)	627棟	2,756棟
死者(人)	44人	226人
負傷者【重傷含む】(人)	254人	1,527人
避難所生活者数(人)	3,004人	28,628人
河川はん濫影響建物棟数(棟)	48棟	5,532棟
内水はん濫影響建物棟数(棟)	748棟	6,975棟

※ 地震被害の想定地震は、「千葉県北西部直下地震(M7.3)」です。

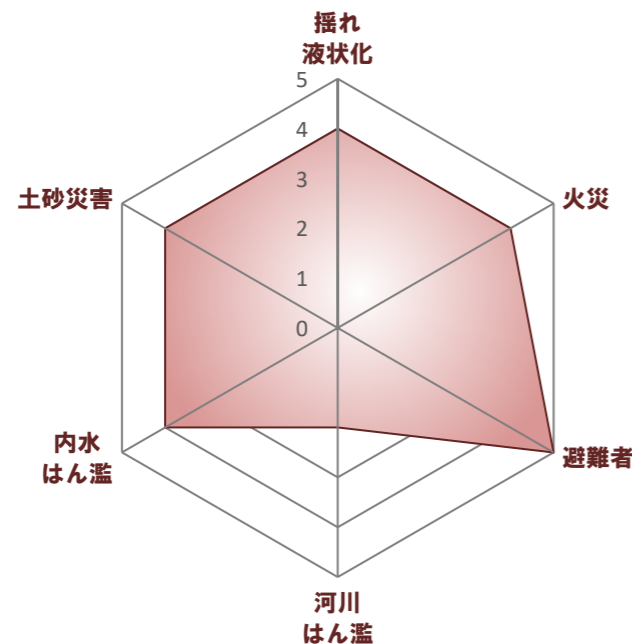
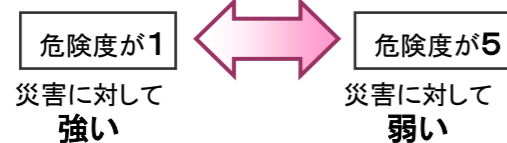




14. 各種災害の評価

評価項目		数値	危険度
地震災害	揺れ・液状化	揺れ・液状化による建物全半壊率(%) ※全半壊棟数/地区内の建物の総数	21.2%
	火災	火災・延焼による焼失率(%) ※焼失棟数/地区内の建物の総数	14.4%
	避難者	避難人口率(%) ※避難所生活者数/地区の総人口	20.8%
風水害	河川はん濫	浸水する可能性がある建物棟数(棟)	48棟
	内水はん濫	浸水する可能性がある建物棟数(棟)	748棟
	土砂災害	土砂災害の影響を受ける可能性のある建物棟数(棟)	28棟

＜地区の災害に対する強さ＞



＜表・グラフの見方＞

被害想定調査の主要な結果に基づいて、各項目ごとに地区の災害特性を5段階の危険度で表したものです。「5」が最も災害の危険度が高いことを表しています。したがって、グラフの六角形の面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

15. 地区の災害特性

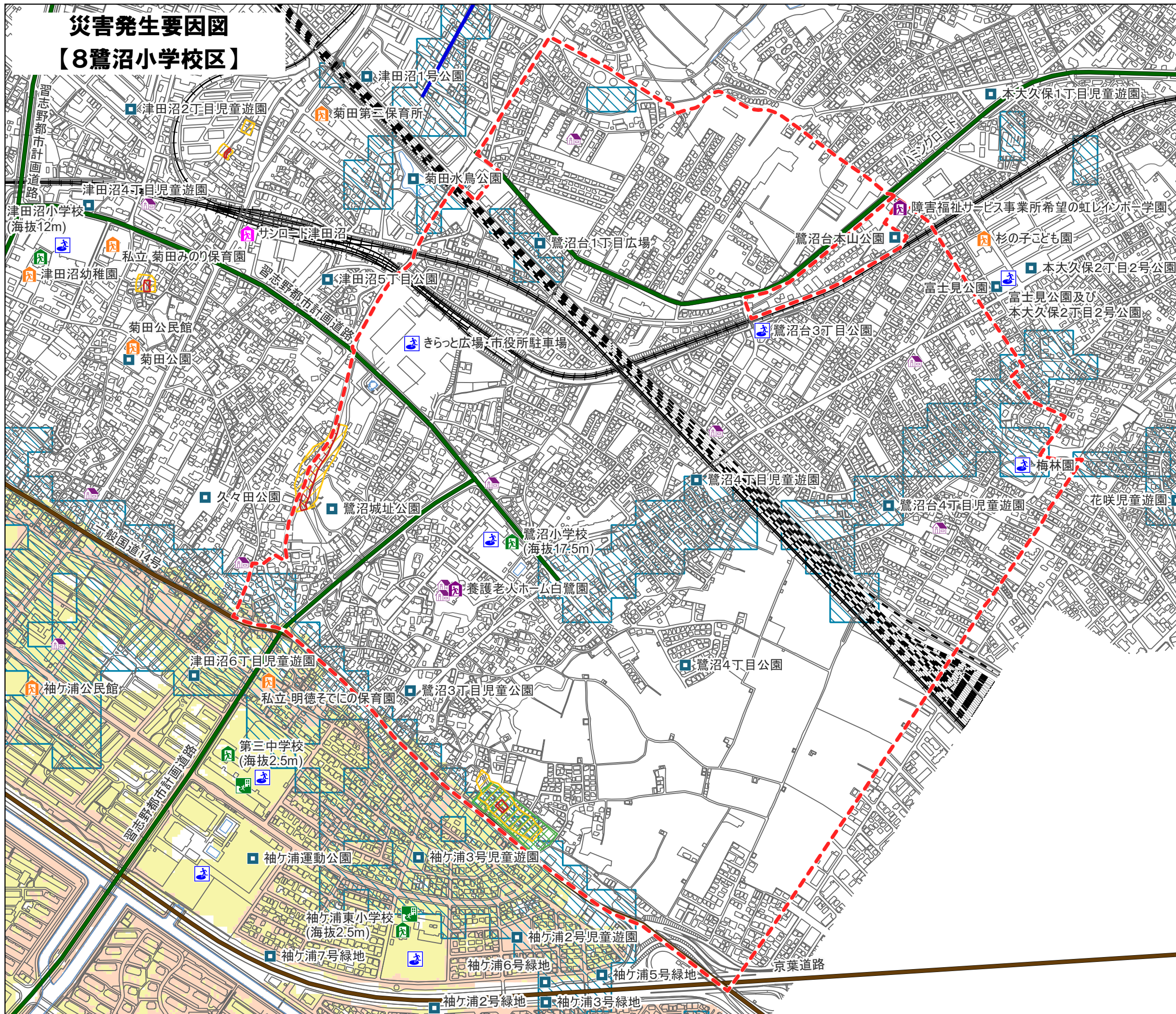
問題点	内容
地震災害	<input type="checkbox"/> 揺れ・液状化による被害 千葉県北西部直下地震（M7.3）が発生した場合、地区のほとんどの区域の揺れが震度6強と予測される。想定される建物全半壊率は21.2%である。地区の南部に液状化が起こる可能性の高い区域があるが、予測される液状化による建物被害は小さい。
	<input type="checkbox"/> 火災による被害 予測される焼失棟数は627棟であり、地区の建物焼失率は14.4%であり、地震火災による被害が懸念される地区である。特に鷺沼4丁目、鷺沼台3丁目、4丁目では木造建物が密集しているため、延焼による被害が懸念される。
	<input type="checkbox"/> 避難環境 地区内で避難所生活者数が3,004人発生すると予測されるが、地区内の避難所の屋内収容人員は約510人であり、収容力が著しく不足している。また千葉市と隣接しており、災害時には本地区の避難施設に市域を越えて避難してくることが予想され、避難所等の対応に支障をきたす可能性がある。
風水害 土砂災害	<input type="checkbox"/> 河川はん濫 河川はん濫によって48棟の建物に影響を及ぼすと予測される。地区全般としては河川はん濫に対する危険性は低いと言えるが、高いところでは3m以上の浸水が予測されるため、警戒が必要である。
	<input type="checkbox"/> 内水はん濫 内水はん濫によって建物が密集する区域が浸水し、1,267棟の建物に影響を及ぼすと予測される。鷺沼台4丁目全域と鷺沼4丁目の住宅地部分が主な浸水想定区域である。想定浸水深は鷺沼台4丁目が最も深く、局所的に浸水深1m以上と想定される区域がある。
	<input type="checkbox"/> 土砂災害 土砂災害特別警戒区域が2箇所、土砂災害警戒区域が2箇所、急傾斜地崩壊危険区域は1箇所指定されており、計28戸が土砂災害の影響を受ける危険性がある。周辺の住家は大雨・長雨時のげ崩れに対して警戒が必要である。
避難環境	<input type="checkbox"/> 一時避難場所 一時避難場所として、鷺沼小学校と鷺沼台3丁目公園、梅林園、市役所前広場が指定されている。 <input type="checkbox"/> 第一避難所 第一避難所として、鷺沼小学校が指定されている。 <input type="checkbox"/> 補助避難所 地区内に補助避難所に指定されている施設はない。 <input type="checkbox"/> 福祉避難所 福祉避難所として、白鷺園が指定されている。
防災施設関係	<input type="checkbox"/> 防災倉庫 地区内には防災倉庫が市役所敷地内と鷺沼小学校に設置されている。 <input type="checkbox"/> 非常用給水施設 非常用給水施設が第2給水場と鷺沼台2丁目市営住宅脇に設置されている。
その他	地区内には習志野市役所、消防本部・中央消防署、習志野警察署などの多くの行政機関が存在する。

16. 防災対策の方向性

防災対策の方向性	
既存建築物の耐震性の確保	<b>■家屋の安全対策実施の促進</b> 昭和55年以前の建築物の耐震診断・耐震補強等を促進する施策を積極的に実施する。特に、不特定多数の人が利用する施設、学校、行政関連施設等の応急対策上重要な施設、要配慮者利用施設、病院施設等について、耐震性の確保に配慮する。 また、耐震診断と耐震改修工事等に関する補助金制度や、簡易耐震診断、家具の固定等の安全対策について、住民に周知・啓発する。
液状化対策の推進	<b>■ライフライン施設の強化</b> 地盤の改良や施設の耐震化・液状化対策により、地震・液状化に強いライフラインづくりを推進する。 <b>■応急対応体制の整備</b> ライフライン被害に対し、迅速に応急復旧に取りかかれるよう体制を整備する。市民生活を保持できるよう、トイレや飲料水等の応急対策について強化・推進する。 <b>■住民への知識普及・啓発</b> 液状化に関する正しい情報を呼びかけ、住民の防災意識を高揚する。
火災・延焼防止対策の推進	<b>■初期消火についての周知徹底</b> 家庭での初期消火の徹底を図るため、消火器具の設置を促進する。また、住民や地域に対して初期消火に関する知識、技術の普及を図るため、防災訓練を積極的に実施する。 <b>■危険物施設の安全確保</b> 消防法に定められた危険物取扱施設（貯蔵所・取扱所）の耐震性を確保する。 <b>■防災空間の整備</b> 延焼拡大を未然に防ぐため、建築物の不燃化を図る。また、火災の延焼防止や一時的な避難場所として重要な役割を担う緑地・都市公園を計画的に整備する。
避難拠点の整備	<b>■避難所・避難場所の確保</b> 災害時における要配慮者や女性の避難生活に配慮し、避難所等への計画的な備蓄や必要な物品の確保など、避難所の生活環境対策を推進する。
避難体制の整備	<b>■情報伝達・情報発信手段の確立</b> 防災行政無線から離れている区域に対し、多様な情報ツール・手段を活用して迅速な避難に資する情報を、住民に発信できる環境整備の改善に引き続き努める。 <b>■防災・減災意識の高揚</b> り災者を抑制するために住宅の耐震化が重要であることを住民に教育・啓発し、防災・減災意識の高揚を図る。 また、ライフラインの途絶等に備え、家庭での水・食料や簡易トイレ等の備蓄を促進する。
河川はん濫・内水はん濫対策の推進	<b>■住民への知識普及・啓発</b> 河川はん濫・内水はん濫の危険性を事前に把握できるよう、ハザードマップ等を活用した知識の普及・啓発を図る。 <b>■気象情報等の発信体制の強化</b> 大雨等の気象情報、避難情報や警戒レベル等を、状況に応じて有効な伝達方法で、迅速かつ的確に発信できるよう体制を検討する。
土砂災害に対する警戒・避難体制の整備	<b>■住民への知識普及・啓発</b> 土砂災害が発生する危険性がある地域住民に対し、土砂災害の危険性を認識し、早めの自主避難が行えるよう知識の普及・啓発を図る。 <b>■土砂災害に対する警戒・早期避難体制の整備</b> 降雨時の気象情報等を把握し、早期の警戒活動や避難情報を判断する体制を整備する。
その他	<b>■自主防災組織活動の促進</b> 防災活動を行うに当たり、住民が地域ごとに団結し、組織的に行動することによってその効果が最大限に発揮できることから、自主防災組織活動を促進する。



# 災害発生要因図 【8鷺沼小学校区】



## 凡例

### 防災関連施設

- 一時避難場所
- 第一避難所
- 補助避難所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 帰宅困難者向け一時滞在施設
- 高齢者福祉施設
- 公園

### 緊急輸送道路等

- 緊急輸送道路1次路線
- 緊急輸送道路2次路線
- 習志野市災害時重要路線

### 土砂災害(急傾斜地)

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地崩壊危険区域

### 水路

- 水路(暗渠・開渠)

### 内水浸水想定区域

- 10cm以上3m未満

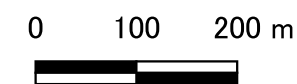
### 河川浸水想定区域

- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

### 小学校区

- 鷺沼小学校区

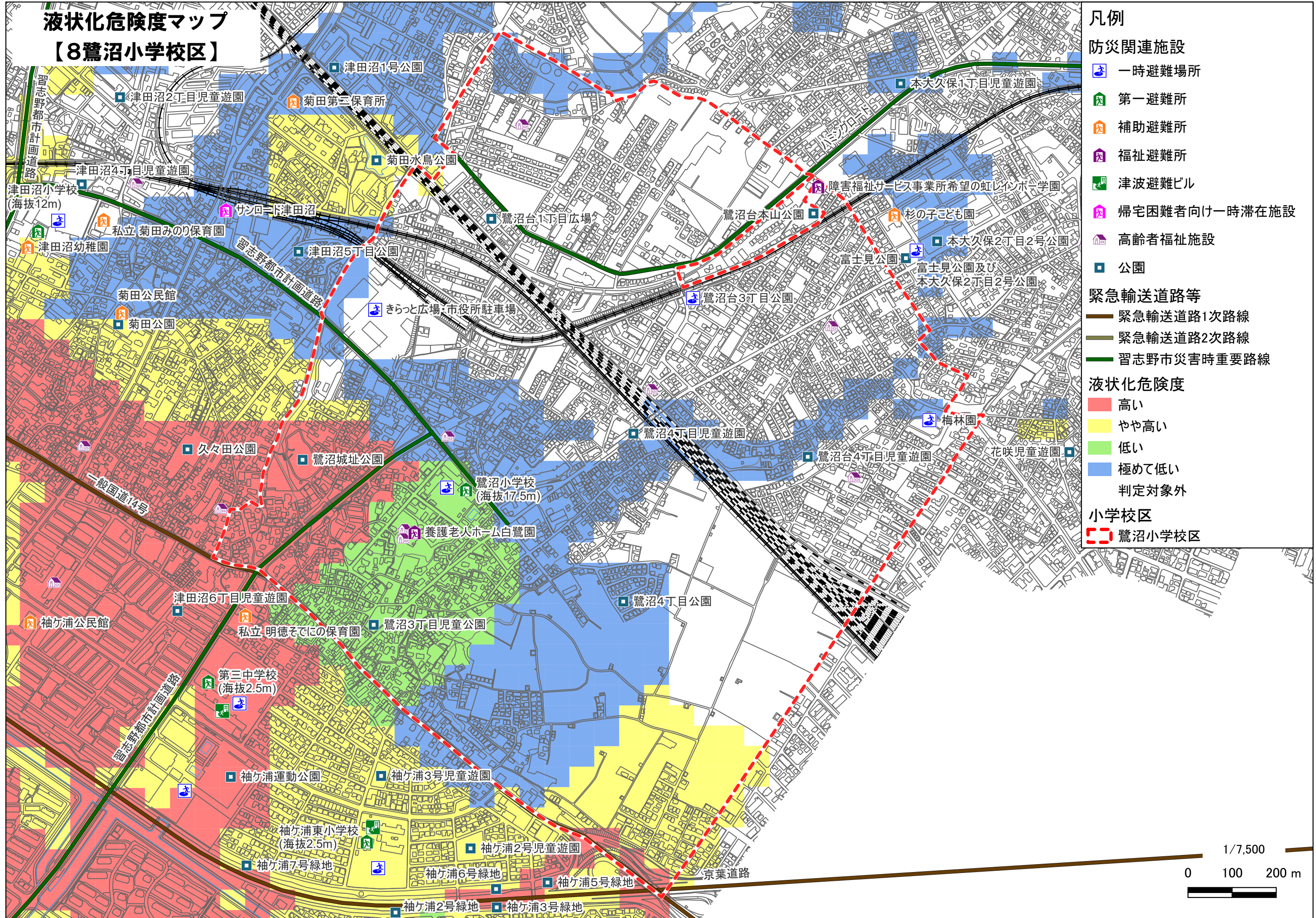
1/7,500





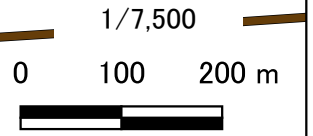
# 液状化危険度マップ

## 【8鷺沼小学校区】



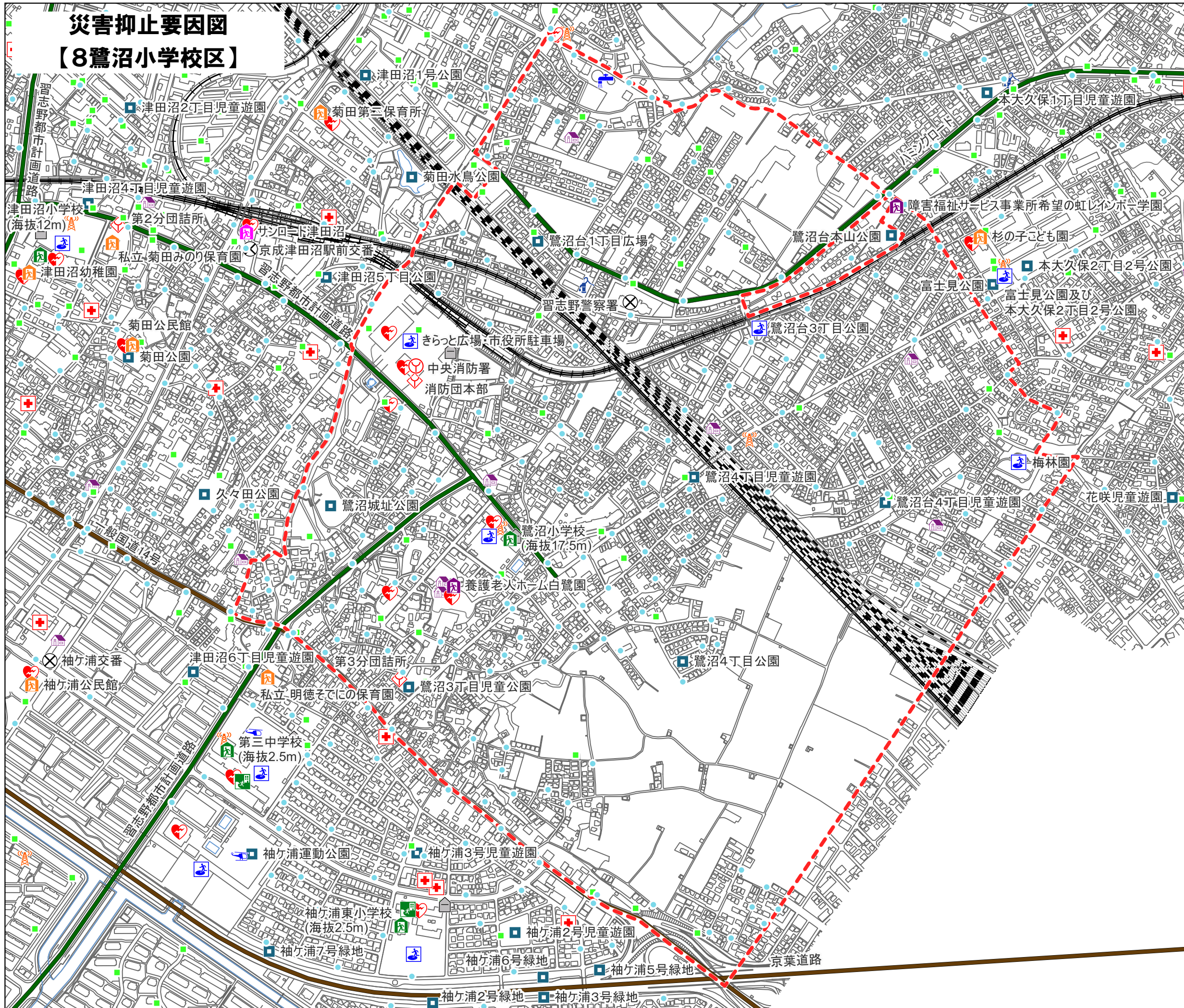
### 凡例

- 防災関連施設**
- 一時避難場所
  - 第一避難所
  - 補助避難所
  - 福祉避難所
  - 津波避難ビル
  - 帰宅困難者向け一時滞在施設
  - 高齢者福祉施設
  - 公園
- 緊急輸送道路等**
- 緊急輸送道路1次路線
  - 緊急輸送道路2次路線
  - 習志野市災害時重要路線
- 液状化危険度**
- 高い
  - やや高い
  - 低い
  - 極めて低い
  - 判定対象外
- 小学校区**
- 鷺沼小学校区





# 災害抑止要因図 【8鷺沼小学校区】



## 凡例

### 防災関連施設

- 一時避難場所
- 第一避難所
- 補助避難所
- 福祉避難所
- 津波避難ビル
- 帰宅困難者向け一時滞在施設
- 高齢者福祉施設
- 公園
- 防災倉庫
- 消防署・消防出張所
- 消防団詰所
- 警察署・交番
- 非常用給水施設
- 非常用給水施設(生活用水(飲料水不可))
- 防災行政無線
- ヘリポート臨時離発着場
- 医療診療所
- AED

### 消防水利

- 消火栓
- 防火水槽
- その他(プール・池)

### 緊急輸送道路等

- 緊急輸送道路1次路線
- 緊急輸送道路2次路線
- 習志野市災害時重要路線

### 小学校区

- 屋敷小学校区

1/7,500

